

● 図表ダウンロード用Excelファイル 表3

【誤】

表3 年齢階級別にみた在宅医療を受けた推計外来患者数

(単位:千人) 令和2年10月

年齢階級	推計外来患者数	(総数)				(病院)				(一般診療所)				(歯科診療所)		
		在宅医療	往診	訪問診療	医師・歯科医師以外の訪問	在宅医療	往診	訪問診療	医師・歯科医師以外の訪問	在宅医療	往診	訪問診療	医師以外の訪問	在宅医療	訪問診療	歯科医師以外の訪問
総数	7 137.5	173.6	52.7	105.7	15.2	22.3	6.3	13.4	2.7	110.3	46.4	61.2	2.7	40.9	31.1	9.8
0～14歳	719.8	0.4	0.3	0.1	0.0	0.2	0.1	0.0	0.0	0.3	0.2	0.1	-	-	-	-
15～34	647.1	1.8	0.8	0.7	0.3	0.5	0.2	0.1	0.1	1.1	0.6	0.4	0.1	0.2	0.2	-
35～64	2 137.8	11.2	4.2	5.4	1.6	2.5	1.0	0.6	1.0	6.2	3.2	2.5	0.4	2.6	2.3	0.3
65歳以上 (再掲)	<u>3 618.8</u>	159.6	47.2	99.1	13.3	19.2	5.0	12.7	1.5	102.4	42.3	58.0	2.2	38.0	28.5	9.6
70歳以上	<u>2 963.9</u>	153.4	45.7	95.2	12.5	18.3	4.7	12.3	1.3	99.1	41.0	56.1	2.0	36.0	26.7	9.3
75歳以上	<u>2 077.3</u>	142.3	42.9	88.0	11.3	16.5	4.2	11.3	1.0	93.1	38.7	52.6	1.8	32.7	24.1	8.5

- 注：1) 総数には、年齢不詳を含む。  
 2) 「往診」とは、患者（介護老人保健施設等を含む。以下同じ。）の求めに応じて患者に赴いて診療するものをいう。  
 3) 「訪問診療」とは、医師においては、居宅において療養を行っている患者であって、通院が困難な者に対して、その同意を得て計画的な医学管理の下に、定期的に医師が訪問して診療を行うものをいい、歯科においては、歯科医師が患者に赴いて診療を行うものをいう。  
 4) 「医師・歯科医師以外の訪問」「医師以外の訪問」及び「歯科医師以外の訪問」とは、居宅において療養を行っている患者であって、通院が困難な者に対して、その同意を得て計画的な医学管理の下に、定期的に当該職種以外の者が訪問して実施されるものをいう。

【正】

表3 年齢階級別にみた在宅医療を受けた推計外来患者数

(単位:千人) 令和2年10月

年齢階級	推計外来患者数	(総数)				(病院)				(一般診療所)				(歯科診療所)		
		在宅医療	往診	訪問診療	医師・歯科医師以外の訪問	在宅医療	往診	訪問診療	医師・歯科医師以外の訪問	在宅医療	往診	訪問診療	医師以外の訪問	在宅医療	訪問診療	歯科医師以外の訪問
総数	7 137.5	173.6	52.7	105.7	15.2	22.3	6.3	13.4	2.7	110.3	46.4	61.2	2.7	40.9	31.1	9.8
0～14歳	719.8	0.4	0.3	0.1	0.0	0.2	0.1	0.0	0.0	0.3	0.2	0.1	-	-	-	-
15～34	647.1	1.8	0.8	0.7	0.3	0.5	0.2	0.1	0.1	1.1	0.6	0.4	0.1	0.2	0.2	-
35～64	2 137.8	11.2	4.2	5.4	1.6	2.5	1.0	0.6	1.0	6.2	3.2	2.5	0.4	2.6	2.3	0.3
65歳以上 (再掲)	<u>3 618.6</u>	159.6	47.2	99.1	13.3	19.2	5.0	12.7	1.5	102.4	42.3	58.0	2.2	38.0	28.5	9.6
70歳以上	<u>2 963.8</u>	153.4	45.7	95.2	12.5	18.3	4.7	12.3	1.3	99.1	41.0	56.1	2.0	36.0	26.7	9.3
75歳以上	<u>2 077.1</u>	142.3	42.9	88.0	11.3	16.5	4.2	11.3	1.0	93.1	38.7	52.6	1.8	32.7	24.1	8.5

- 注：1) 総数には、年齢不詳を含む。  
 2) 「往診」とは、患者（介護老人保健施設等を含む。以下同じ。）の求めに応じて患者に赴いて診療するものをいう。  
 3) 「訪問診療」とは、医師においては、居宅において療養を行っている患者であって、通院が困難な者に対して、その同意を得て計画的な医学管理の下に、定期的に医師が訪問して診療を行うものをいい、歯科においては、歯科医師が患者に赴いて診療を行うものをいう。  
 4) 「医師・歯科医師以外の訪問」「医師以外の訪問」及び「歯科医師以外の訪問」とは、居宅において療養を行っている患者であって、通院が困難な者に対して、その同意を得て計画的な医学管理の下に、定期的に当該職種以外の者が訪問して実施されるものをいう。

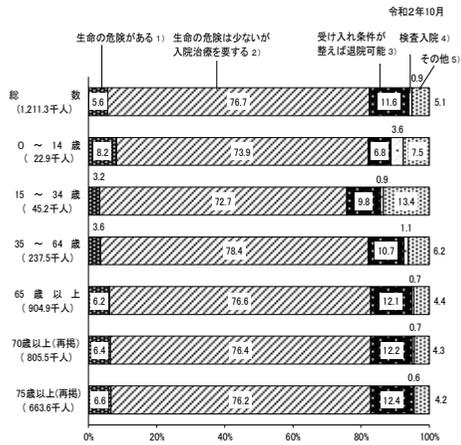
● 図表ダウンロード用Excelファイル 図4

【誤】

図4 年齢階級別にみた入院(重症度等)の状況別推計入院患者数の構成割合

	推計入院患者数					
	総数	生命の危険がある	生命の危険は少ないが入院治療を要する	受け入れ条件が整えば退院可能	検査入院	その他
総数	1211.3	67.7	929.7	141.1	10.6	62.3
0～14歳	22.9	1.9	16.9	1.5	0.8	1.7
15～34	45.2	1.4	32.9	4.4	0.4	6
35～64	237.5	8.6	186.1	25.4	2.6	14.8
65歳以上	904.9	55.8	693.2	109.6	6.8	39.6
70歳以上(再掲)	805.5	51.5	615.6	98	5.6	34.8
75歳以上(再掲)	663.6	44.1	505.5	82.1	3.9	28

	構成割合					
	総数	生命の危険がある	生命の危険は少ないが入院治療を要する	受け入れ条件が整えば退院可能	検査入院	その他
総数 (1,211.3千人)	100.0	5.6	76.7	11.6	0.9	5.1
0～14歳 (22.9千人)	100.0	8.2	73.9	6.8	3.6	7.5
15～34歳 (45.2千人)	100.0	3.2	72.7	9.8	0.9	13.4
35～64歳 (237.5千人)	100.0	3.6	78.4	10.7	1.1	6.2
65歳以上 (904.9千人)	100.0	6.2	76.6	12.1	0.7	4.4
70歳以上(再掲) (805.5千人)	100.0	6.4	76.4	12.2	0.7	4.3
75歳以上(再掲) (663.6千人)	100.0	6.6	76.2	12.4	0.6	4.2



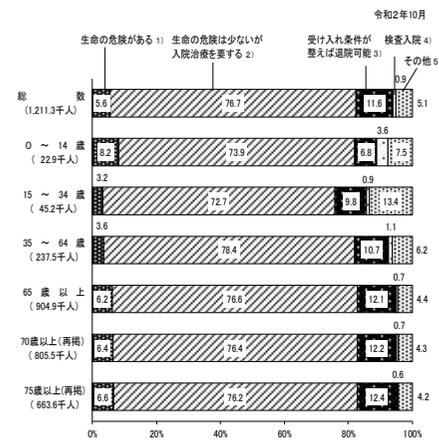
注：1) 「生命の危険がある」とは、生命の危険がある重篤な患者をいう。  
 2) 「生命の危険は少ないが入院治療を要する」には、退院が決定している患者を含む。  
 3) 「受け入れ条件が整えば退院可能」とは、退院は決まっていないが退院可能な状態にある患者をいう。  
 4) 「検査入院」とは、検査のために入院した患者をいい、健康な者に対する一般の検査のための入院患者を含む。  
 5) 「その他」とは、上記1)～4)以外の入院患者をいう。  
 6) ( ) 内は、推計入院患者数である。

【正】

図4 年齢階級別にみた入院(重症度等)の状況別推計入院患者数の構成割合

	推計入院患者数					
	総数	生命の危険がある	生命の危険は少ないが入院治療を要する	受け入れ条件が整えば退院可能	検査入院	その他
総数	1211.3	67.7	929.7	141.1	10.6	62.3
0～14歳	22.9	1.9	16.9	1.5	0.8	1.7
15～34	45.2	1.4	32.9	4.4	0.4	6
35～64	237.5	8.6	186.1	25.4	2.6	14.8
65歳以上	904.9	55.8	693.2	109.6	6.8	39.6
70歳以上(再掲)	805.5	51.5	615.6	98	5.6	34.8
75歳以上(再掲)	663.6	44.1	505.5	82.1	3.9	28

	構成割合					
	総数	生命の危険がある	生命の危険は少ないが入院治療を要する	受け入れ条件が整えば退院可能	検査入院	その他
総数 (1,211.3千人)	100.0	5.6	76.7	11.6	0.9	5.1
0～14歳 (22.9千人)	100.0	8.2	73.9	6.8	3.6	7.5
15～34歳 (45.2千人)	100.0	3.2	72.7	9.8	0.9	13.4
35～64歳 (237.5千人)	100.0	3.6	78.4	10.7	1.1	6.2
65歳以上 (904.9千人)	100.0	6.2	76.6	12.1	0.7	4.4
70歳以上(再掲) (805.5千人)	100.0	6.4	76.4	12.2	0.7	4.3
75歳以上(再掲) (663.6千人)	100.0	6.6	76.2	12.4	0.6	4.2



注：1) 「生命の危険がある」とは、生命の危険がある重篤な患者をいう。  
 2) 「生命の危険は少ないが入院治療を要する」には、退院が決定している患者を含む。  
 3) 「受け入れ条件が整えば退院可能」とは、退院は決まっていないが退院可能な状態にある患者をいう。  
 4) 「検査入院」とは、検査のために入院した患者をいい、健康な者に対する一般の検査のための入院患者を含む。  
 5) 「その他」とは、上記1)～4)以外の入院患者をいう。  
 6) ( ) 内は、推計入院患者数である。

●図表ダウンロード用Excelファイル 表6

【誤】

表6 傷病分類別にみた年齢階級別退院患者の平均在院日数

傷病分類		令和2年9月									
		総数	0～14歳	15～34歳	35～64歳	65歳以上	70歳以上(再掲)	75歳以上(再掲)			
総数		32.3	8.9	12.2	24.4	40.3	41.7	45.0			
I	感染症及び寄生虫症	23.7	5.0	7.8	18.7	32.7	33.8	36.9			
	結核	(再掲)	59.5	3.2	36.6	38.7	66.8	66.0	67.7		
	ウイルス性肝炎	(再掲)	13.8	4.3	10.4	8.9	20.5	22.7	27.6		
II	新生物<腫瘍>	18.2	14.0	10.6	13.3	20.6	21.8	23.9			
	悪性新生物<腫瘍>	(再掲)	19.6	22.5	16.1	14.7	21.4	22.6	24.8		
	胃の悪性新生物<腫瘍>	(再掲)	22.3	7.8	14.2	19.4	22.9	23.1	26.4		
	結腸及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	(再掲)	16.4	9.5	9.8	12.7	17.6	18.5	20.4		
	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	(再掲)	20.8	8.6	22.8	16.5	21.5	22.8	24.6		
	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	(再掲)	21.1	11.2	17.5	16.1	22.3	24.3	26.6		
	乳房の悪性新生物<腫瘍>	(再掲)	15.4	40.1	6.8	8.6	23.8	29.0	38.5		
	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	23.4	9.0	11.3	16.3	28.3	28.8	29.3			
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	24.9	6.1	18.4	14.6	30.6	31.5	33.0			
	糖尿病	(再掲)	30.6	16.7	11.5	15.6	40.7	44.8	51.1		
	脂質異常症	(再掲)	22.7	65.0	2.1	25.3	21.7	22.8	24.5		
V	精神及び行動の障害	294.2	32.5	69.3	214.9	497.1	494.7	476.7			
	血管性及び詳細不明の認知症	(再掲)	312.0	-	109.0	271.0	313.7	312.1	312.3		
	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	(再掲)	570.6	60.3	153.3	334.4	1 147.7	1 255.1	1 397.2		
	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	(再掲)	137.4	42.5	40.1	116.7	193.5	205.0	208.4		
VI	神経系の疾患	83.5	11.8	32.5	50.4	118.6	127.3	141.4			
	アルツハイマー病	(再掲)	273.0	-	159.7	190.1	274.6	275.7	270.8		
VII	眼及び付属器の疾患	3.9	6.6	6.0	5.1	3.6	3.6	3.7			
VIII	耳及び乳突突起の疾患	8.0	3.8	5.7	5.4	10.0	10.6	11.9			
IX	循環器系の疾患	41.5	17.7	26.3	25.3	45.8	48.4	53.4			
	高血圧性疾患	(再掲)	47.6	6.3	25.2	10.7	53.4	55.1	55.7		
	心疾患（高血圧性のものを除く）	(再掲)	24.6	23.8	17.1	12.6	27.6	29.7	33.7		
	脳血管疾患	(再掲)	77.4	31.3	61.7	51.8	83.6	86.9	93.2		
X	呼吸器系の疾患	34.5	8.2	8.9	15.3	42.9	44.2	45.7			
	肺炎	(再掲)	38.0	7.0	15.5	21.9	41.0	42.1	43.1		
	慢性閉塞性肺疾患	(再掲)	52.7	38.7	12.8	15.3	55.1	57.0	60.3		
	喘息	(再掲)	17.4	13.4	9.1	12.2	30.8	33.2	37.6		
X I	消化器系の疾患	13.2	5.8	7.2	9.1	16.4	17.5	19.6			
	う蝕	(再掲)	2.4	3.4	1.1	1.4	2.4	2.4	2.6		
	歯肉炎及び歯周疾患	(再掲)	2.7	1.1	2.6	2.0	3.7	3.8	4.0		
	肝疾患	(再掲)	23.4	7.7	10.1	16.4	28.6	30.6	35.0		
X II	皮膚及び皮下組織の疾患	25.7	6.8	9.3	14.7	33.4	33.8	35.8			
X III	筋骨格系及び結合組織の疾患	31.9	10.9	13.6	20.4	37.9	39.9	43.4			
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	24.5	9.7	6.1	11.8	32.2	33.8	36.7			
	慢性腎臓病	(再掲)	53.4	29.7	25.7	25.3	61.1	64.0	71.7		
X V	妊娠、分娩及び産じょく	7.5	11.3	7.2	8.1	-	-	-			
X VI	周産期に発生した病態	10.8	10.6	139.0	19.1	10.4	10.4	10.2			
X VII	先天奇形、変形及び染色体異常	18.9	12.7	12.9	64.8	21.3	20.1	23.7			
X VIII	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	29.5	3.9	7.9	12.0	42.5	44.6	49.5			
X IX	損傷、中毒及びその他の外因の影響	32.1	3.3	10.8	19.9	41.8	43.0	45.8			
	骨折	(再掲)	38.5	5.5	10.6	21.3	46.2	47.7	50.3		
X X I	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	11.1	7.8	5.1	5.9	20.2	21.7	23.1			
X X II	特殊目的用コード	15.7	7.2	8.3	12.2	24.3	25.7	26.2			

注：1）令和2年9月1日～30日に退院した者を対象とした。

2）総数には、年齢不詳を含む。

3）令和2年調査の平均在院日数には注意を要する。詳細は「8 利用上の注意」（7）参照（3頁）

【正】

表6 傷病分類別にみた年齢階級別退院患者の平均在院日数

傷病分類		令和2年9月									
		総数	0～14歳	15～34歳	35～64歳	65歳以上	70歳以上(再掲)	75歳以上(再掲)			
総数		32.3	8.9	12.2	24.4	40.3	41.7	45.0			
I	感染症及び寄生虫症	23.7	5.0	7.8	18.7	32.7	33.8	36.9			
	結核	(再掲)	59.5	3.2	36.6	38.7	66.8	66.0	67.7		
	ウイルス性肝炎	(再掲)	13.8	4.3	10.4	8.9	20.5	22.7	27.6		
II	新生物<腫瘍>	18.2	14.0	10.6	13.3	20.6	21.8	23.9			
	悪性新生物<腫瘍>	(再掲)	19.6	22.5	16.1	14.7	21.4	22.6	24.8		
	胃の悪性新生物<腫瘍>	(再掲)	22.3	7.8	14.2	19.4	22.9	23.1	26.4		
	結腸及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	(再掲)	16.4	9.5	9.8	12.7	17.6	18.5	20.4		
	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	(再掲)	20.8	8.6	22.8	16.5	21.5	22.8	24.6		
	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	(再掲)	21.1	11.2	17.5	16.1	22.3	24.3	26.6		
	乳房の悪性新生物<腫瘍>	(再掲)	15.4	40.1	6.8	8.6	23.8	29.0	38.5		
	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	23.4	9.0	11.3	16.3	28.3	28.8	29.3			
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	24.9	6.1	18.4	14.6	30.6	31.5	33.0			
	糖尿病	(再掲)	30.6	16.7	11.5	15.6	40.7	44.8	51.1		
	脂質異常症	(再掲)	22.7	65.0	2.1	25.3	21.7	22.8	24.5		
V	精神及び行動の障害	294.2	32.5	69.3	214.9	497.1	494.7	476.7			
	血管性及び詳細不明の認知症	(再掲)	312.0	-	109.0	271.0	313.7	312.1	312.3		
	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	(再掲)	570.6	60.3	153.3	334.4	1 147.7	1 255.1	1 397.2		
	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	(再掲)	137.4	42.5	40.1	116.7	193.5	205.0	208.4		
VI	神経系の疾患	83.5	11.8	32.5	50.4	118.6	127.3	141.4			
	アルツハイマー病	(再掲)	273.0	-	159.7	190.1	274.6	275.7	270.8		
VII	眼及び付属器の疾患	3.9	6.6	6.0	5.1	3.6	3.6	3.7			
VIII	耳及び乳突突起の疾患	8.0	3.8	5.7	5.4	10.0	10.6	11.9			
IX	循環器系の疾患	41.5	17.7	26.3	25.3	45.8	48.4	53.4			
	高血圧性疾患	(再掲)	47.6	6.3	25.2	10.7	53.4	55.1	55.7		
	心疾患（高血圧性のものを除く）	(再掲)	24.6	23.8	17.1	12.6	27.6	29.7	33.7		
	脳血管疾患	(再掲)	77.4	31.3	61.7	51.8	83.6	86.9	93.2		
X	呼吸器系の疾患	34.5	8.2	8.9	15.3	42.9	44.2	45.7			
	肺炎	(再掲)	38.0	7.0	15.5	21.9	41.0	42.1	43.1		
	慢性閉塞性肺疾患	(再掲)	52.7	38.7	12.8	15.3	55.1	57.0	60.3		
	喘息	(再掲)	17.4	13.4	9.1	12.2	30.8	33.2	37.6		
X I	消化器系の疾患	13.2	5.8	7.2	9.1	16.4	17.5	19.6			
	う蝕	(再掲)	2.4	3.4	1.1	1.4	2.4	2.4	2.6		
	歯肉炎及び歯周疾患	(再掲)	2.7	1.1	2.6	2.0	3.7	3.8	4.0		
	肝疾患	(再掲)	23.4	7.7	10.1	16.4	28.6	30.6	35.0		
X II	皮膚及び皮下組織の疾患	25.7	6.8	9.3	14.7	33.4	33.8	35.8			
X III	筋骨格系及び結合組織の疾患	31.9	10.9	13.6	20.4	37.9	39.9	43.4			
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	24.5	9.7	6.1	11.8	32.2	33.8	36.7			
	慢性腎臓病	(再掲)	53.4	29.7	25.7	25.3	61.1	64.0	71.7		
X V	妊娠、分娩及び産じょく	7.5	11.3	7.2	8.1	-	-	-			
X VI	周産期に発生した病態	10.8	10.6	139.0	19.1	10.4	10.4	10.2			
X VII	先天奇形、変形及び染色体異常	18.9	12.7	12.9	64.8	21.3	20.1	23.7			
X VIII	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	29.5	3.9	7.9	12.0	42.5	44.6	49.5			
X IX	損傷、中毒及びその他の外因の影響	32.1	3.3	10.8	19.9	41.8	43.0	45.8			
	骨折	(再掲)	38.5	5.5	10.6	21.3	46.2	47.7	50.3		
X X I	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	11.1	7.8	5.1	5.9	20.2	21.7	23.1			
X X II	特殊目的用コード	15.7	7.2	8.3	12.2	24.3	25.7	26.2			

注：1）令和2年9月1日～30日に退院した者を対象とした。

2）総数には、年齢不詳を含む。

3）退院患者の平均在院日数には注意を要する。詳細は「8 利用上の注意」（7）参照（3頁）